

# ResourceLook 端末導入・設定ガイド iPad 版

*Copyright (c) 2024, Big Bang System Corporation. All rights reserved.*

本書に記載された事項で発生したいかなる事態もその責務を負いません。

また、本書は作成日時点での情報をもとに記述しています。

(株)ビービーシステムは予告なく本書の内容を変更する事があります。

その他、本書に記載されているサービス名、製品名または会社名は、各社の商標  
または登録商標です。

本書では TM マーク、R マークは明記していません。

# 目次

はじめに.....	1
1 システム条件 .....	2
1.1 ソフトウェア条件 .....	2
1.2 ネットワーク条件 .....	2
1.3 使用可能な認証情報 .....	2
1.4 アカウント .....	3
2 導入.....	4
3 設定.....	5
3.1 会議室端末の登録 .....	5
4 アクセスガイド機能(操作範囲の制限) .....	8
4.1 端末のバージョンの確認.....	8
4.2 アクセスガイド機能の設定 .....	9
4.2.1 開始 .....	9
4.2.2 終了 .....	15
4.2.3 再開 .....	17
4.3 アクセスガイド機能の解除 .....	20

## はじめに

本ガイドでは、会議室端末を導入、および設定する方法について説明します。

会議室端末に Exchange から取得した予定情報を表示するには、事前に ResourceLook の管理サイトにアクセスし、端末を設置する会議室のリソース情報を登録します。

会議室端末の利用方法は、別紙「ResourceLook 利用者ガイド iPad 版」をご参照ください。  
ResourceLook 管理サイトの利用方法は、別紙「ResourceLook 管理者・受付用ガイド」をご参照ください。

# 1 システム条件

本章では、会議室端末のシステム条件について説明します。

## 1.1 ソフトウェア条件

利用する会議室端末は、以下のソフトウェア条件を満たしている必要があります。

※最新の情報は、弊社製品ページ(<https://look.bbsystem.co.jp/resourcelook>)をご参照ください。

※ソフトウェアの条件の確認方法は、「4.1 端末のバージョンの確認」をご参照ください。

- iOS のバージョンが 11.0 以上
- iPadOS のバージョンが 13.0 以上

## 1.2 ネットワーク条件

会議室端末は、インターネットに接続できる必要があります。

会議室端末運用時には、以下のサイトに接続します。

オンライン版の場合は、弊社が公開している ResourceLook サーバーです。

- <https://www.resourcelook.net/>

オンプレミス版の場合は、設置した ResourceLook サーバーです。

- <https://<ResourceLookServer名>/>

## 1.3 使用可能な認証情報

会議室端末に Exchange 上の会議室の予定情報を表示するには、以下が必要です。

- ResourceLook サーバーから Exchange サーバーに接続する「Exchange サービスアカウント」
- Exchange サービスアカウントのメールボックス
- 会議室のメールアドレス

※「Exchange サービスアカウント」の作成については、別紙「ResourceLook 管理者・受付用ガイド」の「2.3 Exchange サービスアカウント」をご参照ください。

※「Microsoft Entra 認証を利用する」設定で今すぐ入室を行うと、Microsoft Entra の認証ダイアログが表示されます。

Microsoft Authenticator などの認証アプリをインストールしていた場合、Microsoft Entra に代わり、インストールした認証アプリの認証ダイアログが表示されます。

## 1.4 アカウント

ResourceLook 会議室端末アプリを実行および利用するアカウントに、特別な権限は必要ありません。

割り当てられたアクセスを使用する場合、専用のアカウントを作成します。

アクセスガイドの詳細については、「4 アクセスガイド機能(操作範囲の制限)」をご参照ください。

## 2 導入

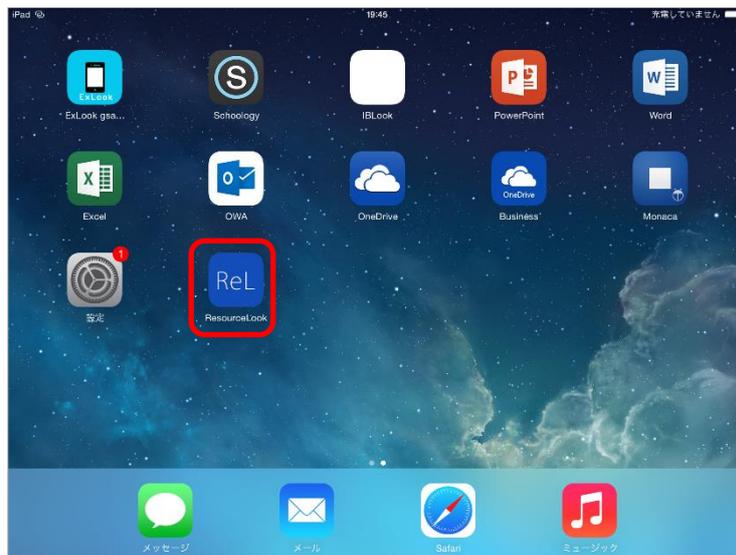
本章では、端末に ResourceLook を導入する手順について説明します。

ResourceLook の会議室端末用アプリは、App Store に公開されており、App Store からダウンロードします。

アプリのダウンロード方法は、Apple のサポートページをご参照ください。

端末に最新の更新プログラムを適用した後、App Store から”ResourceLook”と検索し、アプリをインストールします。

インストール完了後、アプリ一覧に「ResourceLook」が表示されます。([画面 1])



[画面 1]

## 3 設定

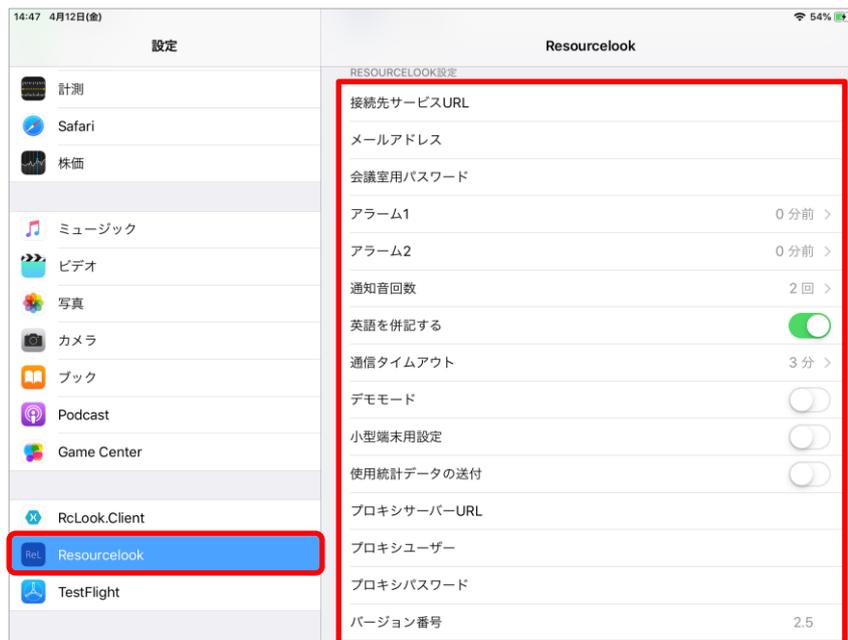
本章では、会議室端末を iOS 環境で使用するための設定方法について説明します。

### 3.1 会議室端末の登録

本節では、会議室端末の登録について説明します。

会議室端末アプリの初回起動時に、会議室の登録画面が表示されるので、初期設定を行います。会議室メールアドレスの紐づけを行うと、会議室端末に Exchange から取得した予定情報が表示されます。

- 1 iPad 端末ホーム画面から、設定「」をタップします。
- 2 設定メニューから「ResourceLook」をタップします。
- 3 ResourceLook の設定画面が表示されます。([画面 2]/手順 3～11)



[画面 2]

- 4 設定項目について、以下の表に説明します。

[表 1 端末設定項目一覧]

項目	内容
①接続先サービス URL	オンライン版は、以下 URL を入力します。 <a href="https://www.resourcelook.net/m/">https://www.resourcelook.net/m/</a> オンプレミス版は、以下 URL を入力します。 <a href="https://&lt;ResourceLookServer 名&gt;/m/">https://&lt;ResourceLookServer 名&gt;/m/</a>

項目	内容
②メールアドレス	<p>表示する会議室のメールアドレスを入力します。</p> <p>会議室端末で設定するメールアドレスは、事前に ResourceLook の管理サイトでリソース登録します。</p> <p>メールアドレスの登録方法は、別紙「ResourceLook 管理者・受付用ガイド」の「6.1 リソース設定」をご参照ください。</p>
③会議室用パスワード	<p>「会議室用パスワード」は、事前に ResourceLook の管理サイトで登録します。</p> <p>登録方法は、別紙「ResourceLook 管理者・受付用ガイド」の「6.4 全体設定」をご参照ください。</p>
④アラーム	<p>「アラーム」の時間と通知音回数を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アラーム 1： 会議終了を知らせる 1 回目のアラームの時間を設定します。 初期値は 0 分前です。 数値を 0 に設定すると、アラームがオフになります。アラームをオンにする場合は、いずれかの数値を設定してください。</li> <li>• アラーム 2： 会議終了を知らせる 2 回目のアラームの時間を設定します。 初期値は 0 分前です。 ※アラーム 2 の時間には、アラーム 1 よりも小さい値を設定してください。</li> <li>• 通知音回数： 通知音の回数を設定します。 アラーム 1・2 で設定した時間に、設定した回数の通知音が鳴ります。 初期値は 2 回です。 ※アラーム 1・2 のいずれかを有効にしていると、自動キャンセル 1 分前にもアラームが鳴ります。</li> </ul>
⑤英語を併記する	<p>「英語を併記する」の有効、無効を選択します。</p> <p>有効にすると、各画面の項目名に英語を併記します。</p> <p>初期値は無効です。</p>
⑥通信タイムアウト	<p>「通信タイムアウト」を設定します。</p> <p>サーバーとの通信のタイムアウト時間を設定します。</p> <p>初期値は 3 分です。</p>

項目	内容
⑦デモモード	<p>「デモモード」の有効、無効を選択します。</p> <p>有効にすると、「メールアドレス」に設定した会議室ではなく、デモ用の会議室を表示し、「今すぐ入室」や「延長」などの操作デモを行うことができます。</p> <p>Exchange サーバーの予定は変更されません。</p> <p>初期値は無効です。</p>
⑧小型端末用設定	<p>「小型端末用設定」の有効、無効を選択します。</p> <p>有効にすると、各画面の項目を縮小表示します。</p> <p>初期値は無効です。</p>
⑨使用統計データの送付	<p>使用統計データの有効、無効を選択します。</p> <p>この設定が有効の場合、操作ログおよび例外ログやテレメトリ情報が随時、Microsoft 社の Visual Studio App Center に送信・収集されます。収集される情報は、端末のデバイス名、OS 情報(OS バージョン、国/地域、言語)やセッション数、操作に関わる情報(対象リソースの ID、対象予定の ID、各コントロールの入力値など)、処理結果などです。ただし、いずれの操作においてもパスワードは収集されません。また、Outlook などであらかじめ Exchange に登録された予定の本文や添付ファイルは収集されません。</p>
⑩プロキシサーバー URL	「プロキシサーバーURL」に、URL を入力します。
⑪プロキシユーザー	「プロキシユーザー」に、ユーザーを入力します。
⑫プロキシパスワード	「プロキシパスワード」に、パスワードを入力します。

※番号⑩～⑫はプロキシ認証が必要な場合に設定してください。

5 設定画面を閉じ、アプリを再起動します。

## 4 アクセスガイド機能(操作範囲の制限)

本章では、iPad 端末のアクセスガイド機能の設定手順について説明します。

アクセスガイド機能を使用すると、会議室端末アプリでユーザーの画面操作範囲を制限することができます。

アクセスガイド機能を設定する前に、端末に会議室端末アプリの登録設定を完了させる必要があります。手順については、前述「2 導入」「3 設定」をご参照ください。

ResourceLook 管理サイトの「今すぐ入室」にて「Microsoft Entra の認証を利用する」を設定している場合、認証アプリをインストールしている端末では、アクセスガイドを設定すると認証アプリでの認証が利用できなくなります。

上記の条件に該当する端末では、アクセスガイドを設定しないでください。

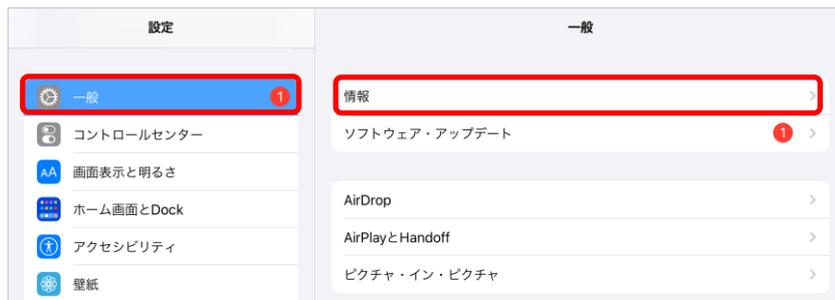
### 4.1 端末のバージョンの確認

本節では、端末のバージョンを確認する方法について説明します。

アクセスガイド機能を設定する前に、端末がシステム要件を満たしていることを確認します。

※端末によって、表示形式・名称は異なる場合があります。

- 1 iPad 端末ホーム画面から、設定「」をタップします。
- 2 設定メニューから「一般」を選択し、一般画面内の「情報」をタップします。([画面 3])



[画面 3]

- 3 「システムバージョン」が 7.1 以上であることを確認します。([画面 4])



[画面 4]

## 4.2 アクセスガイド機能の設定

本節では、アクセスガイド機能の設定方法について説明します。

アクセスガイド機能を利用している間は、iPad ホーム画面への移動はできません。

iPad ホーム画面を利用する場合は、アクセスガイド機能を終了します。

アクセスガイド機能の開始、終了および再開は、端末の設定画面から行います。

### 4.2.1 開始

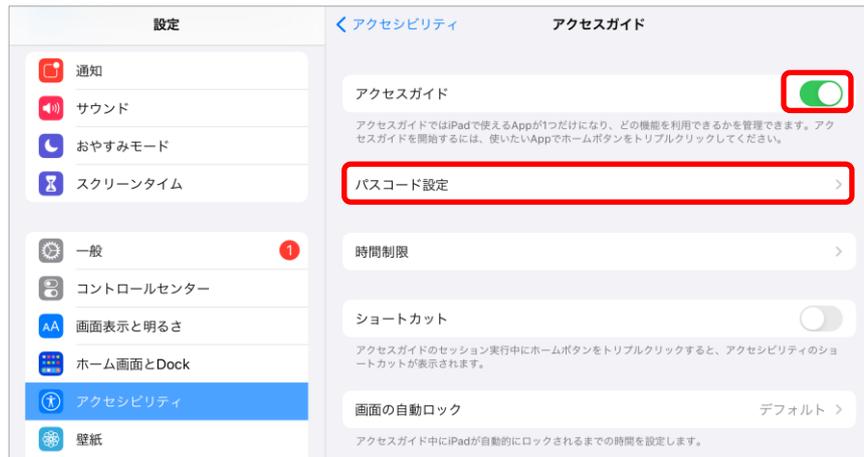
アクセスガイド機能を開始し、会議室端末の操作を制限します。

- 1 iPad 端末ホーム画面から、設定「」をタップします。
- 2 設定メニューから「アクセシビリティ」をタップし、アクセシビリティ画面下部の「アクセ  
スガイド」をタップします。([画面 5])



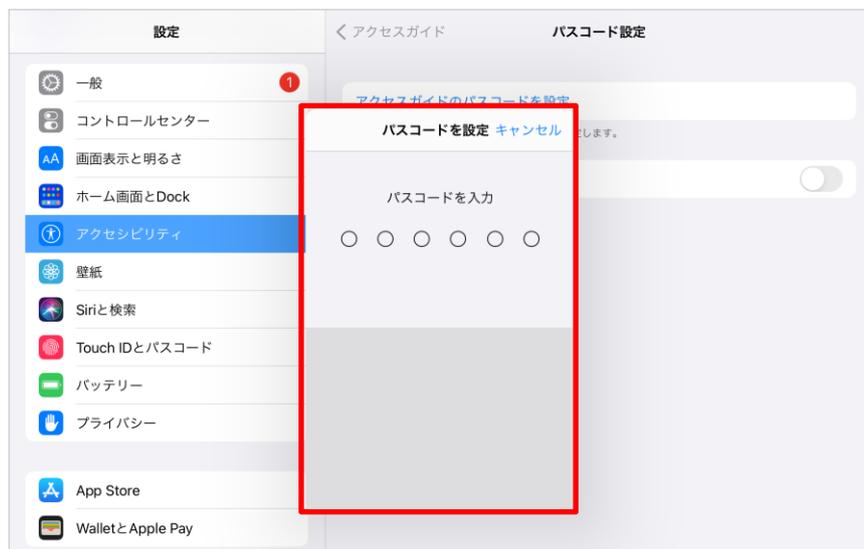
[画面 5]

- 3 「アクセスガイド」を有効にし、「パスコード設定」をタップします。([画面 6])



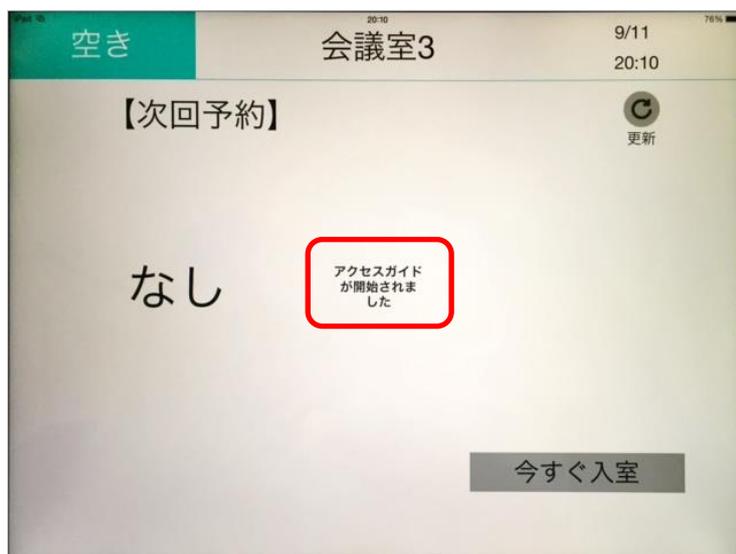
[画面 6]

- 4 「アクセスガイドのパスワードを設定」を選択し、パスワードを入力します。([画面 7])  
 ※パスワードは、6桁の番号を繰り返し入力します。



[画面 7]

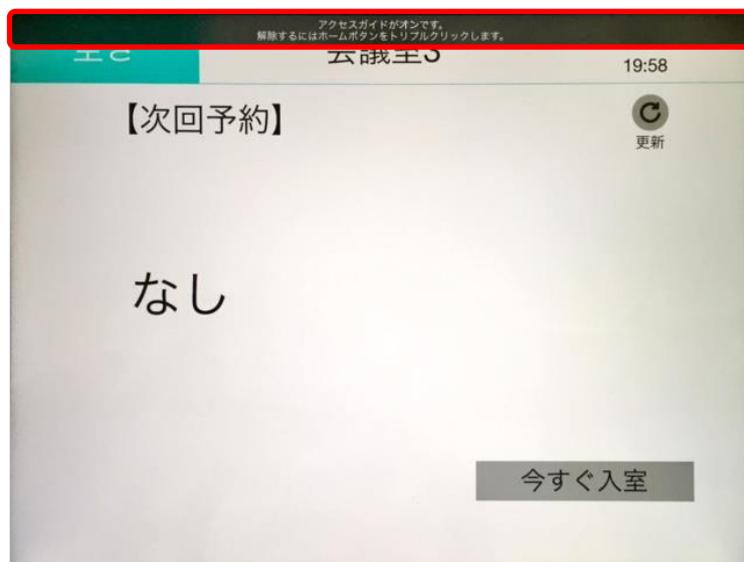
- 5 パスコードを設定後、ホームボタン「」を押下し、ホーム画面へ戻ります。  
 6 会議室端末アプリを開き、ホームボタン「」を3回連続して押下します。  
 7 画面中央に「アクセスガイドが開始されました」というメッセージが表示されるので、表示が消えた後、再度ホームボタン「」を3回連続して押下します。([画面 8])



[画面 8]

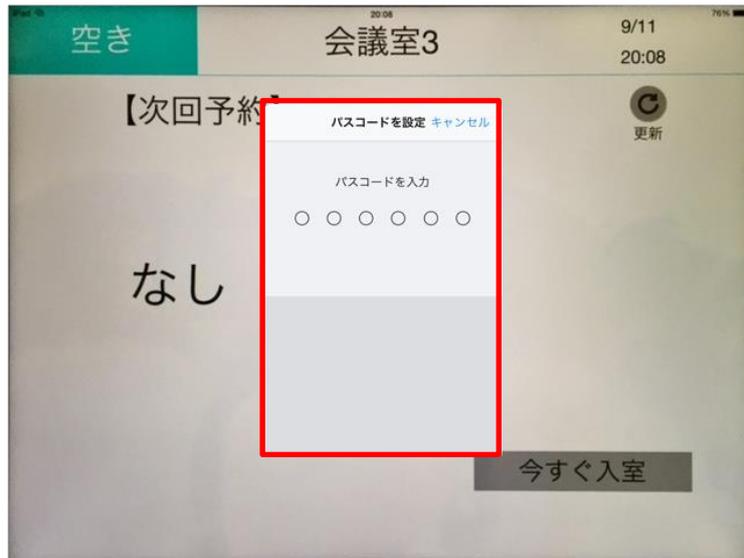
※3回連続のホームボタン「」押下に失敗した場合、画面上部に「アクセスガイドがオンです。終了するにはホームボタンをトリプルクリックします。」というメッセージが表示されます。([画面 9])

メッセージの表示が消えた後、再度手順 6～7 を行います。



[画面 9]

- 8 パスコード入力画面が表示されるので、手順 4 で設定したパスコードを入力します。([画面 10])



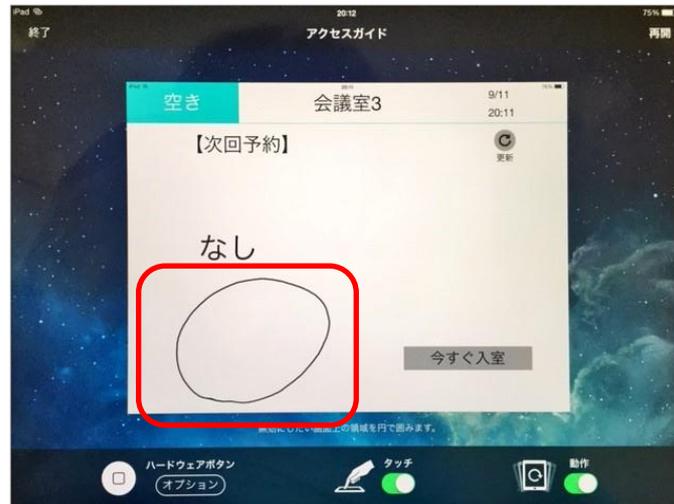
[画面 10]

- 9 画面下部の「タッチ」をオンにします。([画面 11])



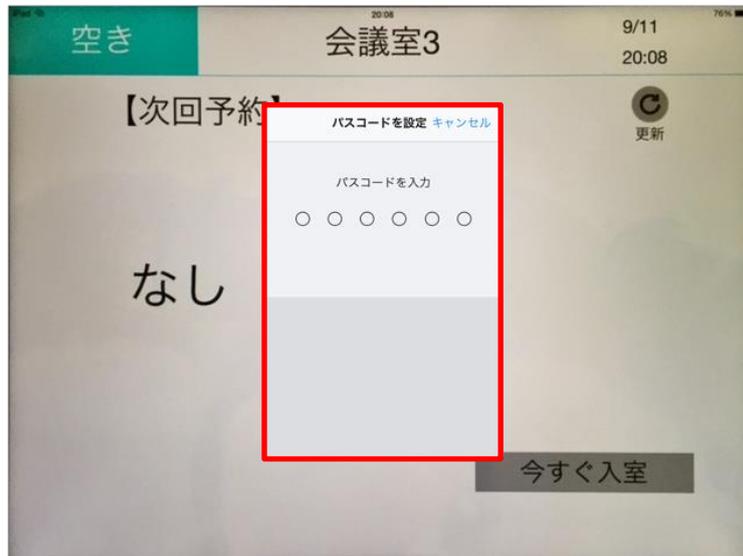
[画面 11]

- 10 画面操作を制限する領域を、画面上に直接指で円を描き、範囲指定します。([画面 12])  
※範囲を変更する場合は、描いた円の左上の「×」をタップし、再度範囲指定します。



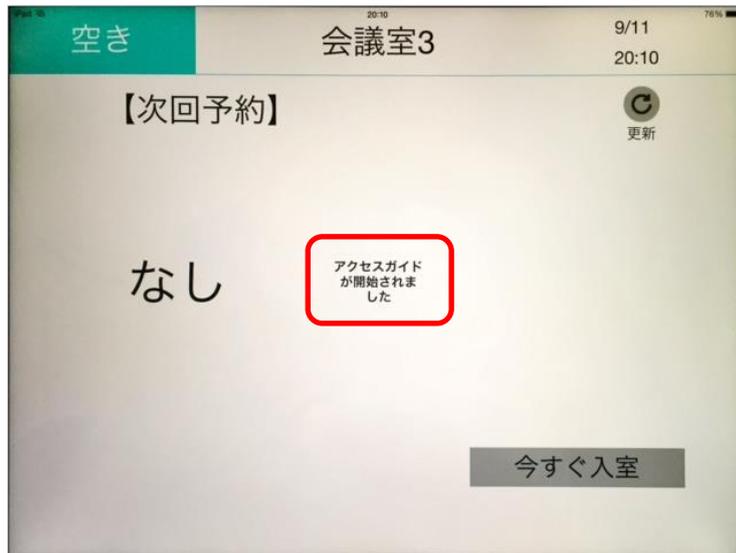
[画面 12]

- 11 「開始」を選択し、手順4で設定したパスコードを2回入力します。([画面 13])



[画面 13]

- 12 会議室端末アプリが表示され、「アクセスガイドが開始されました」と画面中央に表示されます。  
グレースケール内部が操作不可能の範囲となり、範囲内の操作が制限されます。([画面 14])

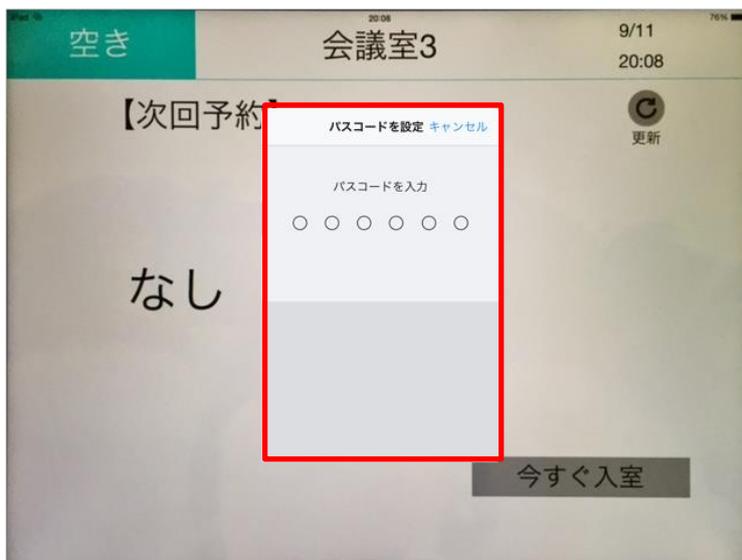


[画面 14]

## 4.2.2 終了

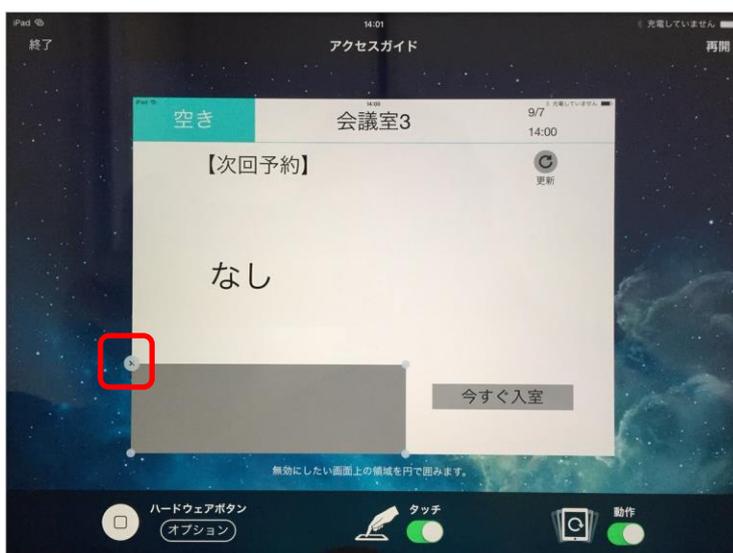
アクセスガイド機能を終了し、会議室端末の操作を有効にします。

- 1 アクセスガイド機能を利用している会議室端末アプリで、ホームボタン「」を3回連続して押下します。
- 2 パスコード入力画面が表示されるので、「4.2.1 開始」の手順4で設定したパスコードを入力します。([画面 15])



[画面 15]

- 3 グレースケール範囲の左上の「×」を選択します。([画面 16])



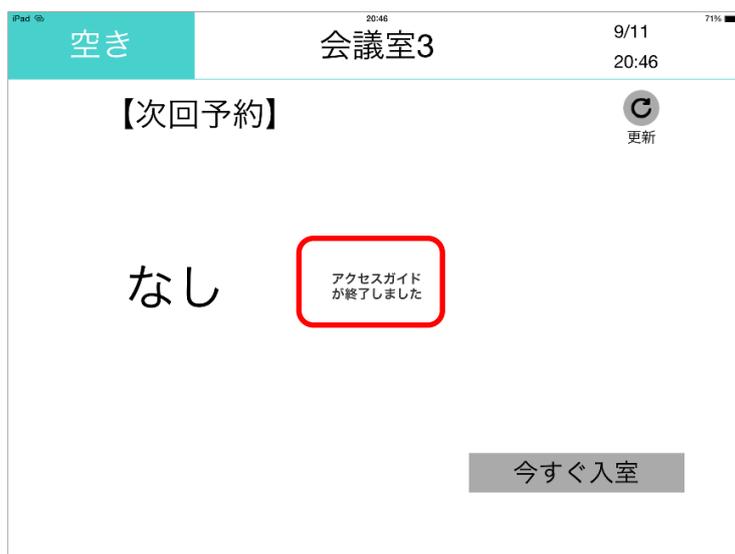
[画面 16]

- 4 画面左上の「終了」をタップします。([画面 17])



[画面 17]

- 5 通常の利用画面に戻り、「アクセスガイドが終了しました」というメッセージが画面中央に表示されます。([画面 18])

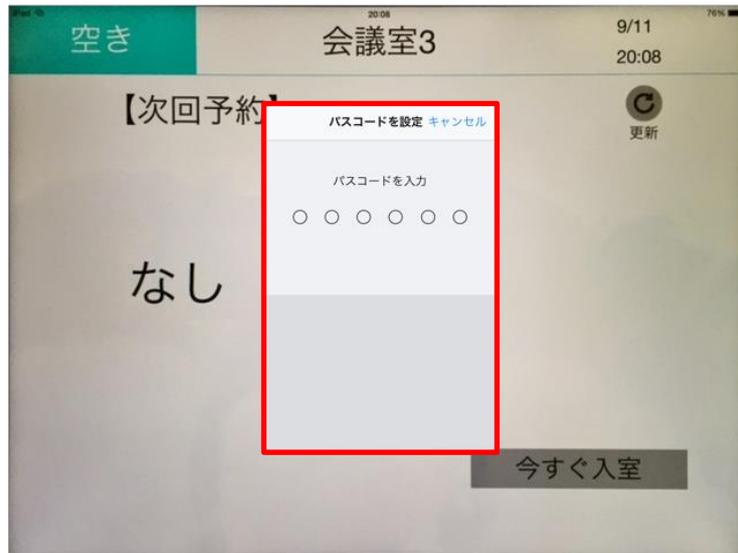


[画面 18]

### 4.2.3 再開

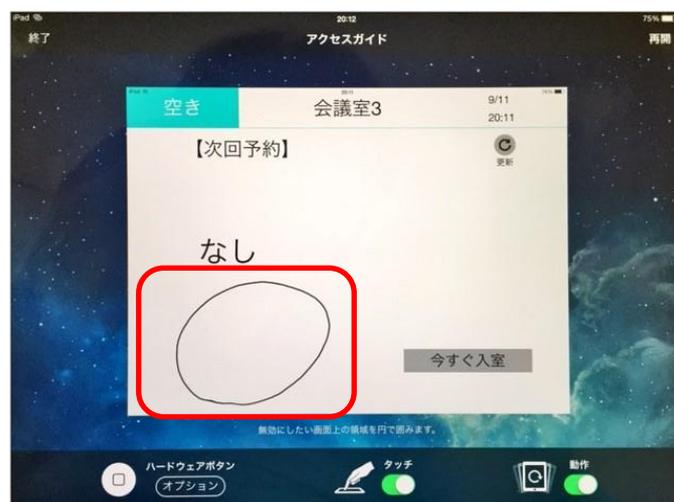
一度設定したアクセスガイド機能を再開し、再度会議室端末の操作を制限します。

- 1 アクセスガイド機能を利用している会議室端末アプリで、ホームボタン「」を3回連続して押下します。
- 2 パスコード入力画面に「4.2.1 開始」の手順4で設定したパスコードを入力します。([画面 19])



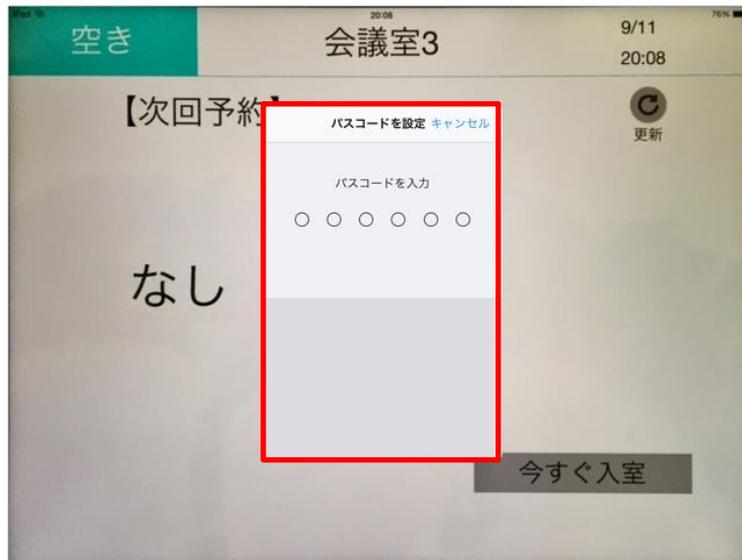
[画面 19]

- 3 画面操作を制限する領域を、画面上に直接指で円を描き、範囲指定します。([画面 20])  
※範囲を変更する場合は、描いた円の左上の「×」をタップし、再度範囲指定します。



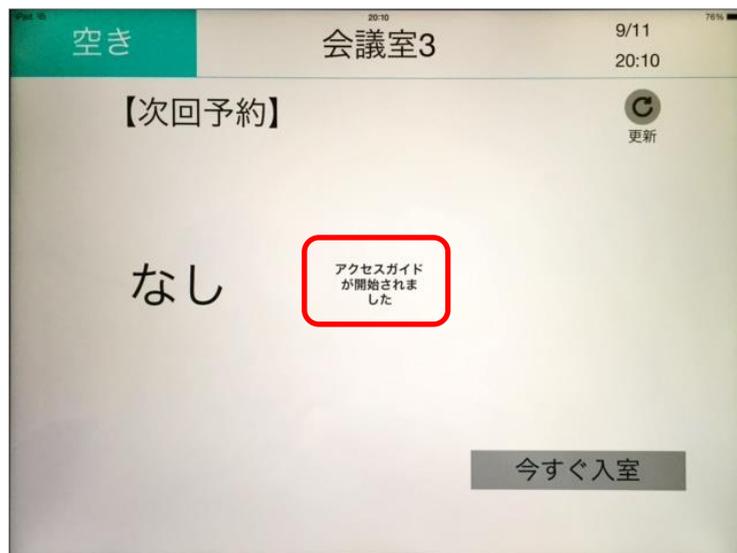
[画面 20]

- 4 「開始」を選択し、設定したパスコードを2回入力します。([画面 21])



[画面 21]

- 5 「アクセスガイドが開始されました」というメッセージが画面中央に表示されます。グレースケール内部が操作不可能の範囲となり、範囲内の操作は制限されます。([画面 22])



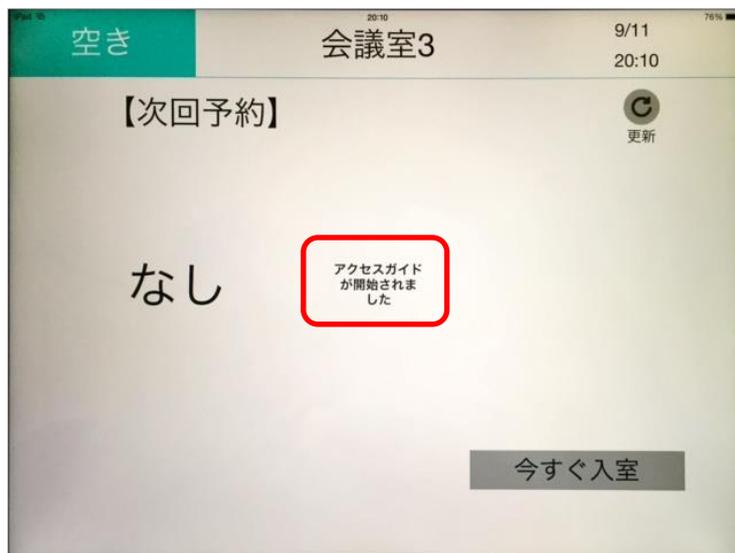
[画面 22]

- 6 画面右上の「再開」をタップします。([画面 23])



[画面 23]

- 7 通常の利用画面が表示され、「アクセスガイドが開始されました」というメッセージが画面中央に表示されます。([画面 24])



[画面 24]

## 4.3 アクセシビリティ機能の解除

本節では、アクセシビリティ機能を解除する方法について説明します。

一度アクセシビリティ機能を解除すると、設定したアクセシビリティ機能は再開できなくなります。解除後にアクセシビリティ機能を使用する場合は、アクセシビリティ機能を再設定する必要があります。

※アクセシビリティ機能の設定は、「4.2 アクセシビリティ機能の設定」をご参照ください。

また、会議室端末アプリを更新される際は、この手順で設定を解除した上で App ストアからアプリの更新を行ってください。

- 1 iPad 端末ホーム画面から、設定「」を選択します。
- 2 設定メニューから「アクセシビリティ」をタップし、アクセシビリティ画面内の「アクセシビリティ」をタップします。([画面 25])



[画面 25]

- 3 「アクセシビリティ」を無効にします。([画面 26])



[画面 26]

以上